

参考文献

- 1) (公社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説IV下部構造編、2017.
- 2) 七澤利明ほか：橋梁基礎形式の選定手法調査、土木研究所資料第 4339 号、2016.
- 3) 西田秀明：技術基準・温故知新 第 14 回 道路橋示方書IV下部構造編 道路橋基礎に関する技術基準の変遷、道路、2013-12、pp.66-69、2013.
- 4) 林隆浩、先崎大樹：既製コンクリート杭の時代変遷について、基礎工、Vol.35 No.7、2007.
- 5) 山下久男、平田尚、木下雅敬：わが国における鋼管杭設計・施工技術の発展と今後の課題、土木学会論文集 F、Vol.66 No.3、2010.
- 6) (社) 日本建設基礎協会、福井次郎：場所打ちコンクリート杭の変遷と今後の課題、基礎工、Vol.33 No.2、2005.
- 7) 大石雅彦：ケーソン工法の開発、橋梁と基礎、99-8、1999.
- 8) 岡原美知夫：鋼管矢板基礎技術の変遷と今後、基礎工、Vol.31 No.8、2003.
- 9) 地中連続壁基礎協会技術委員会：地中連続壁基礎の経緯と今後の適用性、基礎工、Vol.37 No.1、2009.
- 10) (社) 日本道路協会：斜面上の深礎基礎設計施工便覧、2012.
- 11) 加島聰：長大橋基礎と基礎形式の変遷、基礎工、Vol.44 No.1、2016.
- 12) 七澤利明、飯島翔一：道路橋基礎の設計基準における部分係数設計法の適用 第 1 回 道路橋基礎に関する基準の変遷、基礎の被害の実態(被災割合・被災度)、基礎工、Vol.48 No.4、2020.
- 13) 中洲啓太：技術基準・温故知新 第 5 回 道路橋技術基準の変遷について、道路、2011-6、2011.
- 14) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針 くい基礎の設計篇、1964.
- 15) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針 直接基礎の設計篇、1968.
- 16) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説IV下部構造編、1980.
- 17) 七澤利明ほか：柱状体基礎の要求性能及び安定照査法に関する研究、土木研究所資料第 4273 号、2013.
- 18) 駒田敬一：二次元傾斜荷重に対する地盤支持力の計算図表、土木研究所報告第 135 号、1969.
- 19) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説IV下部構造編、2002.
- 20) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説IV下部構造編、1990.
- 21) 前田良刀：山岳橋梁基礎の歴史と動向、橋梁と基礎、99-8、1999.
- 22) 日本道路公団：設計要領第二集、1998.
- 23) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針 調査および設計一般篇、1966.
- 24) 国土交通省国土技術政策総合研究所、(国研) 土木研究所：平成 26 年(2014 年) 北海道地方被災橋梁等調査報告、国総研資料第 868 号、2015.
- 25) 国土交通省国土技術政策総合研究所、(国研) 土木研究所：平成 28 年(2016 年) 熊本

地震土木施設被害調査報告、国総研資料第 967 号、2017.

- 26) (社) 日本道路協会：道路橋耐震設計指針・同解説、1972.
- 27) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編、1980.
- 28) 兵庫県南部地震道路橋震災対策委員会：兵庫県南部地震における道路橋の被災に関する調査報告書、1995.
- 29) (社) 日本道路協会：兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様、1995.
- 30) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編、1996.
- 31) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編、2002.
- 32) (社) 日本河川協会：解説・河川管理施設等構造令、1977.
- 33) 国土交通省国土技術政策総合研究所、(国研) 土木研究所、(国研) 建築研究所：令和元年(2019年)房総半島台風および東日本台風による土木施設・建築物等災害調査報告、国総研資料第 1111 号、2020.
- 34) 国会図書館：リサーチナビ <https://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/bib01207.php>
- 35) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針 くい基礎の施工篇、1968.
- 36) (一財) 土木研究センター：建設技術審査証明報告書「T・P JOINT」、2017.
- 37) (一社) コンクリートパイル・ポール協会：COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン(土木) 第 4 版、2021.
- 38) 河野謙治、横幕清：鋼管杭の機械式継手「ハイメカネジ TM」の土木分野への展開、JFE 技報 NO.31、2013.
- 39) 国土交通省土地・建設産業局建設業課：横浜市の分譲マンションにおける基礎ぐいに関する問題に関する省内連絡会議(第 1 回)開催について、2015.
- 40) (一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会：鋼管ソイルセメント杭工法施工管理要領 [Edition 2.0]、2021.
- 41) (一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会：回転杭工法施工管理要領 [Edition 2.0]、2021.
- 42) (一社) 鋼管杭・鋼矢板技術協会：鋼管杭の打撃工法施工管理要領 [Edition 1.0]、2019.
- 43) 塩井幸武、古屋敏夫、千野啓次：構造物基礎形式の選定手法調査、土木研究所資料第 1285 号、1978.
- 44) 国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所：紀勢線赤羽川橋橋台の変状について～第二報～、2013.
- 45) (国研) 土木研究所、(学法) 早稲田大学、(一社) 日本基礎建設協会：場所打ち杭基礎の設計の合理化・高度化に関する共同研究報告書〔その 2 (オールケーシング工法の施工管理装置の検討及び杭列数によるリダンダンシーを考慮した耐震信頼性設計法)〕、共同研究報告書第 509 号、2019.
- 46) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針：場所打ちくい基礎の設計施工篇、1973.
- 47) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針 くい基礎の設計篇、1976.
- 48) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編、1996.
- 49) (社) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編、2012.
- 50) 池田俊雄：新編 地盤と構造物 一 地質・土質と鉄道土木 失敗と成功の軌跡一、1999.

- 51) 国土交通省国土技術政策総合研究所、(国研) 土木研究所：平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震による道路橋等の被害調査報告、国総研資料第 814 号、2014.
- 52) 七澤利明、河野哲也、宮原清、大城一徳：杭の軸方向の支持力及びばね定数推定式の見直しと推定精度の評価に関する研究、土木研究所資料第 4374 号、2018.
- 53) 大志万和也、中林正司、浜田信彦：薄層支持杭の支持力特性に関する研究、阪神高速道路公団技報、第 10 号、1991.
- 54) (公社) 日本道路協会：杭基礎設計便覧、平成 27 年版、2015.
- 55) 中谷昌一ほか：性能規定体系における道路橋基礎の安定照査法に関する研究、土木研究所資料第 4136 号、2009.
- 56) 塩井幸武、浅沼秀弥、堀部正文：橋台の側方移動に関する研究、土木研究所資料第 1804 号、1981.
- 57) 中谷昌一ほか：橋台の側方移動対策ガイドライン策定に関する検討（その 2）、土木研究所資料第 4174 号、2010.
- 58) 塩井幸武、橋詰豊：構造物基礎の教科書、2020.
- 59) 河野哲也、七澤利明、中谷昌一：構造細目及び照査内容に見る既設木杭基礎の設計の考え方と今後の課題、土木技術資料、Vol.57、No.10、2015.
- 60) 浅間達雄、足立義雄：くい頭部とフーチングの結合部の設計 ー道路局企画課長通達の解説ー、道路、1972.
- 61) 中谷昌一ほか：既設道路橋基礎の耐震性能簡易評価手法に関する研究、土木研究所資料第 4168 号、2010.
- 62) 国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所：国道 51 号神宮橋橋脚の損傷に関する調査検討委員会とりまとめ、2014.
- 63) 建設省土木研究所、(財) 先端建設技術センターほか：橋梁基礎の施工における自動化技術の開発に関する共同研究報告書 ーオープンケーソン工法の自動化技術の開発ー設計・施工マニュアル（案）、共同研究報告書第 163 号、1997.
- 64) 山本剛士、高田佳彦、鈴木威：鋼製橋脚を有すケーソン基礎のパラペット部の合理化による径の縮小検討について、土木学会第 66 回年次学術講演会、2011.
- 65) 遊津一八、倉知禎直、景山俊和：一世紀を迎えるニューマチックケーソン工法、土木施工、Vol.62 No.8、2021.
- 66) 中谷昌一：ケーソン技術の進展と今後の展開、基礎工、Vol.43 No.5、2015.
- 67) 吉田巖、足立義雄：ケーソン基礎の静的水平抵抗に関する実験研究、土木研究所報告第 139 号、1971.
- 68) (社) 日本道路協会：道路橋下部構造設計指針：ケーソン基礎の設計篇、1970.
- 69) 大場義人、守屋紀和、小林秀人、小野秀平：矢部川大橋の上部工施工について、土木学会土木建設技術発表会概要集、2009.
- 70) 中野正則ほか：柱状体基礎の設計計算手法に関する調査、土木研究所資料第 3455 号、1996.
- 71) 七澤利明ほか：柱状体基礎の設計計算モデルおよび安定照査方法に関する研究、土木研

- 究所資料第 4369 号、2018.
- 72) (社) 日本道路協会：鋼管矢板基礎設計指針・同解説、1984.
- 73) 矢作枢、岡原美知夫、千野啓次、山本洋司：矢板式基礎の設計法（その 1）、土木研究所資料第 1175 号、1977.
- 74) 玉越隆史、七澤利明、齊藤正道：現場に学ぶメンテナンス 橋台の側方移動への対応事例、土木技術資料、56-8、2014.
- 75) 岡原美知夫、福井次郎、田口敬二、船越敦：地中連続壁基礎の設計計算手法に関する調査、土木研究所資料第 2603 号、1988.
- 76) (社) 日本道路協会：地中連続壁基礎設計施工指針・同解説、1991.
- 77) 藤野徹、笹嶋考二、小野寺勇：大口径深礎ぐいの設計・施工 東北自動車道・八戸線 双畑橋、橋梁、1985.
- 78) 国土交通省中国地方整備局：萩・三隅道路玉江橋事故調査報告書（概要）、2008.
- 79) (財) 高速道路調査会基礎構造研究委員会基礎構造設計研究班：基礎構造に関する調査研究 昭和 47 年度・報告書、1972.
- 80) 中谷昌一ほか：岩盤上の基礎の鉛直方向の安定照査法のための地盤反力度の評価に関する研究、土木研究所資料第 4222 号、2012.
- 81) 国土交通省国土技術政策総合研究所、(独) 土木研究所：平成 16 年（2004 年）新潟県中越地震に係わる現地調査概要、国総研資料第 248 号、2005.
- 82) 新潟県土木部監理課：新潟県中越大震災の記録、2019. : <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/dobokukanri/1300136465340.html>
- 83) 星隈順一：熊本地震で被災した長陽大橋ルート、1 年 4 ヶ月ぶりに開通～国総研・土研の高度な技術の総合力が早期復旧に貢献～、土木技術資料、59-10、2017.
- 84) 吉田巖：吊橋を支える基礎 若戸橋から明石大橋へ、2012.
- 85) 高井祐輔、田中剛、關真二郎、島宜範：トルコ、イズミット湾横断橋の工事報告 — 上下部一括デザインビルドによる長大吊橋の建設—、日本橋梁建設協会平成 30 年度橋梁技術発表会、2018.
- 86) (財) 海洋架橋・橋梁調査会：スカート・サクシオン基礎の設計・施工マニュアル、JBEC ライブラリー No.1、2005.
- 87) (一社) 日本建築学会：建築基礎構造設計指針、2019.
- 88) 宮原清、七澤利明：パイルド・ラフト基礎設計法の既設道路橋杭基礎への適用可能性、土木技術資料、59-6、2017.
- 89) 首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究委員会：首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究委員会報告書、2013.
- 90) 山口雅史、石原行博：回転切削圧入で施工した開端鋼管杭の極限支持力の評価、第 53 回地盤工学研究発表会発表講演集、2018.
- 91) 七澤利明、飯島翔一：道路橋基礎の設計基準における部分係数設計法の適用 第 4 回杭基礎の耐荷性能照査における部分係数の試算、基礎工、Vol.48 No.7、2020.
- 92) (一社) 全国地質調査業協会連合会：地質関連情報 WEB :

<https://www.zenchiren.or.jp/tikei/oubei.html#sec01>

- 93) 佐々木靖人：土木事業における地質・地盤リスクマネジメント技術、土木技術資料、63-1、2021.
- 94) 河野哲也、七澤利明、中谷昌一：構造細目及び照査内容に見る既設木杭基礎の設計の考え方と今後の課題、土木技術資料、57-10、2015.
- 95) 河野哲也ほか：既設木杭基礎の遠心場における加振実験、土木学会第 67 回年次学術講演会、2012.